

平成24年度 事業報告

法人全般

学園全体の取組

■ヘルスピア倉敷

平成22年にオープンしましたヘルスピア倉敷にて、倉敷芸術科学大学生命科学部健康医療学科の学生が鍼灸ケアセンターを実習利用し、相互の連携を深めています。

今年度、新たに鍼灸治療院を開院し、倉敷芸術科学大学有資格教員が週2回外部診療を始めました。また、平成25年4月からは、学生の実習の場としても利用していきます。



■株式会社SID創研

平成23年12月、加計学園出資会社として株式会社SID創研



(Space(空間)Intellect(知性)Dream(夢))を設立、今年度より本格的に運営いたしました。事業活動の受注及び代行を行うことで快適な環境整備、業務の効率化を図りました。今後、コスト削減及び教育活動において、さらに有効利用していきたいと考えています。

主な事業は下記の通りです。

- ①建築の設計及び工事監理、建物メンテナンスに関する事業
- ②書籍、雑誌、教材の販売
- ③知的情報管理に関する事業

- ④旅行者に基づく旅行者代理業
- ⑤人材派遣事業
- ⑥宅地建物取引に関する事業
- ⑦保険に関する事業
- ⑧その他適法な一切の事業

■省エネルギーの推進

平成21年度より省エネルギー推進委員会を定期的で開催し、省エネルギーに対する教職員の意識向上に努めています。今年度も、エアコンの設定温度を厳守、不要な照明の消灯等日常の心がけを大切に取り組みました。

夏はクールビズ、冬はウオームビズを実施し、衣服の調整でエアコン等の消費電力量の削減に取り組みました。

また、各設置校で省エネの分科会を年4回開催し、省エネ対策を検討しました。学園全体では、省エネ推進委員会を年2回開催し、各設置校の省エネ対策をまとめ、より効果的な省エネ推進に努めました。

■FD・SDの推進

FD・SD研修会等を学園全体で開催することで、教職員一人ひとりが、多様化された時代に必要な取組は何か気付くきっかけ作りを行い、学園の活性化に努めました。

9月1日(土)、全教職員を対象に「変わる」から「変える」へ、をテーマに研修会を開催しました。第1部では、チャレンジする私立大学と題し、日本私立学校振興・共済事業団 山本雅淑氏より、財務状況の分析、私立大学の事例等を中心に講演を頂きました。第2部では、地域連携・地域密着大学の取り組みと題し、学校法人 新静岡学園 理

事長 大坪檀氏より教職員改革等について講演を頂きました。

9月8日(土)、第3部 JALグループの再生と意識改革ーJALフィロソフィーと題しまして、JALメンテナンスサービス代表取締役社長 吉岡俊彦氏より講演を頂きました。

12月28日(金)、1月7日(月)と2回にわたり、「われらの学校自慢」研修会を開催しました。年末年始行事の前に、教職員一人ひとりが1年間を振り返り、各学校の取組みや強みを知るきっかけになることを目的としました。

■私立大学等経常費補助金研修会

7月6日(金)、法人本部・岡山理科大学・倉敷芸術科学大学・千葉科学大学で、補助金業務に携わっている職員を対象とした研修会を開催いたしました。

法人総務部法人総務課主催で行い、約70名の参加がありました。

今年度申請に関しての留意点、昨年度より変更のあった箇所等の説明を行いました。

8月22日(水)・23日(木)、千葉科学大学にて経常費補助金提出書類の根拠資料・整備状況確認を行ったことで、より良い改善に繋がっていきます。

■三大学学長会議

岡山理科大学・倉敷芸術科学大学・千葉科学大学の学長及び事務局長等による会議を定期的に行い、大学間の連携や運営方針などを話し合い、将来計画の策定やその実現に努めました。

■財務改善会議

各学校の代表者による財務改善会議を開催し、健全な財務体質となるよう改革を進めています。

今年度は3回開催し、定員割れの原因と対策等について議論しました。

■広報会議(毎月)

学生確保に向け、広報戦略等を共有することで、

学園全体の志願者が増加するように努めました。

■進化する自己点検・勤務考課

各部署における目標に対し、職員各自が個々の目標を持って業務にあたり、11月に10項目に渡り自己点検を行った後、上司により考課・面談を行いました。一人ひとりが、業務改善や連携の強化など活力ある組織づくりに努めます。

また、契約職員においては、契約更新時に面接を行った後、本人へ結果を知らせると共に課題提出を行い人材育成に努めました。

■ワーク・ライフ・バランス

労務時間の管理を徹底し、さらに各部署における業務見直しにより時間あたりの生産性を向上させることで心身共に負担となる時間外労働の削減を実現しワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)を図り、健康で豊かな生活のための時間が確保できる組織作りを目指しました。

■高年齢法・労働契約法改正に伴う研修会

12月26日(水)、社会保険労務士 山本豊郎氏より講演を頂きました。学園として法律に基づき対応をしていきます。

■包括連携協定

5月8日(火)、株式会社山田養蜂場と教育交流協定を締結しました。岡山理科大学11号館8階ラウンジで行われた調印式で、加計晃太郎理事長と山田英生社長が協定書に署名し、握手を交わしました。平成22年に岡山理科大学附属高等学校生命動物コースが山田養蜂場で実習を行って以来交流が続き、今回の協定となりました。

11月26日(月)、地域社会の発展と学術の振興に寄与することを目的に、新見市と包括連携協定を締結しました。新見市役所で行われた調印式で、石垣正男市長は「雇用確保と産業振興につながれば」と挨拶されました。

3月18日(月)、瀬戸内市と包括連携協定を締結しました。地域づくりの推進、観光や産業な

どの地域経済の発展、教育・文化・スポーツ、自然環境の保全などの6項目が盛り込まれ、調印式で武久市長は「瀬戸内市を研究フィールドとして活用していただきたい」と挨拶されました。

NEXT100周年

■伊能忠敬全国巡回フロア展

今年度創立50周年を迎えた岡山理科大学附属高等学校の記念事業の一環として、完全復元伊能図全国巡回フロア展を平成24年9月21日(金)～24日(月)の4日間、加計第2記念体育館及び加計学園50周年記念館を会場として行いました。

加計第2記念体育館のフロア全面に、伊能図の原寸大の複製を大図(1/36,000)、中図(1/216,000)、小図(1/432,000)計225枚を敷き詰め展示するとともに、伊能忠敬の経歴および測量経過を辿ることのできるパネルも設けました。50周年記念館では、伊能測量隊が使用した測量機器のレプリカの展示と俳優座が制作した伊能忠敬の生涯を描いた映画「伊能忠敬-子午線の夢-」の上映が行われました。

一般公開の9月21日(金)～23日(日)の3日間で総勢3,509名の来場者がありました。

24日(月)は学内者への公開として学生・教職員が見学し、4日間で合計4,531名が伊能忠敬の偉業に触れる機会をもちました。

フロア展で、本学園が文化情報の発信源として地域に貢献する良い機会となりました。



■加計勉基金の創設

学校法人加計学園の記念事業として、50周年記念加計勉基金の創設に向け着手しました。

特命事業関係

私学経営の厳しさが増す中で多様な財源確保方策の一助とし、且つ学園組織の簡素化等に資するため特命事業として、事業法人による効率的な収益事業を展開するため(株)K2ライフラボの実施事業を(株)SID創研へ整理統合し、平成24年9月から積極的に企業活動を展開し学園への寄与するよう努めました。

■主な事業

次の各種事業を積極的に展開して参ります。

①技術・研究シーズの社会還元事業の展開

- ・好適環境水事業(陸上閉鎖循環式養殖システム・海水魚淡水魚混泳化飼育水、魚体トリートメント浴用水)
- ・水質浄化事業(亜塩素酸・水族館、湖沼等)
- ・eラーニング事業(MOMOTAROシステム)
- ・化粧品開発事業(潤身シリーズ)
- ・その他の特許権、著作権に係る市場化事業

②学園業務支援事業の展開

- ・業務受託事業
- ・学外実習場の提供(アクア事業)及び実習成果物受託販売(観賞魚・魚介類等)
- ・印刷・製本事業

③学生・教職員、地域住民等に対する学園サービス業務の代行又は提供事業

- ・図書類、学用品等の斡旋販売
- ・レンタル事業(袴・生活用品・各種物品)
- ・各種傷害保険等保険代理店事業

④ヘルスピア倉敷等運営事業

ヘルスピア倉敷の施設整備の進展に伴い倉敷芸術科学大学との連携の下に事業を展開してきましたが、施設の合理的、効率的な運営を図る

ためファスティング・ラドン温浴施設・レストラン各事業は、平成24年8月から学園へ運営移管しました。次の事業について、9月から株式会社創研に移行し運営を行っています。

- ・屋外プール・アイスアリーナ・スポーツ施設（テニス、フットサル、スカッシュ等）

⑤人工飼育水の特許取得

岡山理科大学山本俊政准教授の開発した好適環境水は、平成18年特許出願申請していましたが、平成24年8月17日付けで、特許登録されました。

国際交流関係

本学園はグローバル化する国際社会において、諸外国との親密な連携が人材育成には不可欠であると考え、早くから国際性の涵養を教育理念の一つに掲げ、様々な取り組みを行いました。

■フェアウエルパーティー

7月10日、教育交流協定を締結している諸外国の学生等を招待するフェアウエルパーティーを、岡山理科大学スカイテラスにて開催いたしました。

アメリカ・ブラジル学生訪日文化研修団21名を含む約500名が参加し、中国、韓国、ネパール、スリランカ、ベトナムの屋台を楽しみました。

■第二回加計学園杯日本語弁論国際大会

第二回加計学園杯日本語弁論国際大会の地区予選を7～10月に7カ国計10会場にて開催いたしました。これら予選で選抜された10名の出場者による決勝大会を岡山理科大学にて11月16日（金）に開催しました。

約500名の入場者があり、出場者は自国の素晴らしい所や大事にしていることなど「お国自慢」を流暢な日本語で披露しました。

■第三回加計杯日本語弁論大会

学園設置校に在籍している留学生による弁論大

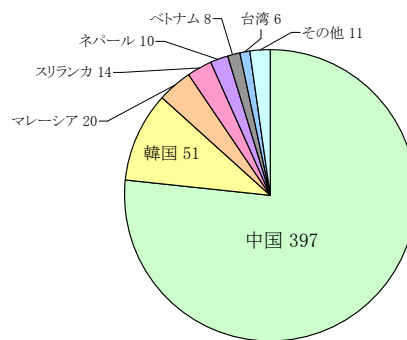
会の決勝を11月17日（土）に開催し、中国、スリランカなど4か国の留学生13人が「私を感じた見た日本」をテーマにスピーチを行いました。

■海外支局長会議

春期は4月6～7日、秋期は11月15日の2回開催しました。海外協定校との連絡、留学生の確保など、海外支局長との連携を密にしたいと考えています。

■国別留学生内訳

（平成24年5月1日現在）



総数：517（単位：人）

■平成24年度教育交流協定を締結校

10月5日 韓国礼一デザイン高等学校

■教育交流協定校との交流プログラム

国名	計 画	予定
アメリカ	受入：ライト大学仕事体験生 5名（岡山理科大学） 受入：フィンドリー大学仕事 体験生1名（千葉科学大学）	4～3月 9～3月
韓 国	受入：湖西大学単位互換履修 生4名（岡山理科大学2名、 倉敷芸術科学大学2名）	4～3月
台 湾	受入：致理技術学院科目等履 修生8名（岡山理科大学4名・ 倉敷芸術科学大学4名）	4～2月
台 湾	受入：致理技術学院学生訪日 研修団 計27名	5.28～ 6.6
アメリカ	受入：フィンドリー大学学生 訪日研修団来学8名	6.26～ 7.18
ブラジル	受入：パラ連邦大学・パラカ カ大学学生訪日研修団13名	6.26～ 7.18
中 国	受入：江蘇省前黄中学、鎮江 市実験中学高校生研修団29名	7.18～ 7.21
韓 国	受入：木洞高校学生研修団 25名	7.18～ 7.22
韓 国	受入：慶一学園生徒研修団 32名	7.23～ 7.31
ブラジル	派遣：パラ連邦大学・パラカ カ大学へ学生研修団7名	8.8～ 8.31
アメリカ	派遣：フィンドリー大学へ学 生研修団10名	8.16～ 9.10
台 湾	派遣：致理技術学院へ学生研 修団5名	8.27～ 9.5
中 国	受入：東北師範大学人文学院 短期(単位互換)留学生1名	9月～3 月
韓 国	受入：全南女子商業高校学生 研修団18名	12.4～ 12.9
韓 国	受入：正明高校学生研修団	2.13～ 2.18
韓 国	派遣：湖西大学へ学生研修団	3.8～ 3.14

海外協定校（別表3）

（平成25年3月31日現在）

国名	教育交流協定校	校数
中国	南開大学、北京科技大学、雲南大学、中山大学、河南科技大学、東北師範大学、東北師範大学人文学院、中国管理軟件学院、北京城市学院、北京市実美職業学校、北京市求实職業学校、黒龍江中医薬大学、安徽外国語学院 （留学生募集に関する提携校：内モンゴル省智力引進外語専修学院、北京平成日本語学校、成都瀨川日本語学校、四川外国語学院国際教育学院、西南交通大学外語学院国際項目部、深圳職業技術学院、明正日本語学校、南京卓越日本語専修学院、無錫運河実験中学校、長沙明照日本語専修学院、吉林动画学院他）	13校 (23校)
韓国	慶一学園、金剛学園（永同大学、亨硯高校）、鶴山学園（東ソウル大学）、金龍学園（徳園女子高校、徳園芸術高校）、桂林学園（正明高校）、清錫学園（清州大学）、純心教育財団（純心高校）、湖西学園（湖西大学）、江原大学、金泉大学、大田保健大学、韓国防災協会、全南女子商業高等学校、木洞高校、礼ーデザイン高等学校	15校
台湾	大華技術学院、明新科技大学、南台科技大学、稲江科技暨管理学院、稲江高級商業職業学校、金甌女子高級中学、致理技術学院、海山高級工業職業学校、治平高級中学、財団法人崇右技術学院	10校
アメリカ	ライト大学、ハワイ大学、フィンドリー大学、シェネンドーア大学、グアム大学	5校
イギリス	サンダーランド大学、オックスフォード大学、ケンブリッジ大学キャベンディッシュ研究所、ダービー大学	4校
スリランカ	ワヤンバ・ロイヤルカレッジ、マリヤデワ・カレッジ、マリヤデワ・バーリカウィッダヤラヤ、マヒンダ・カレッジ・ゴール	4校
ブラジル	パラナ・カトリカ大学、パラナ連邦大学、バンデイランテス高校	3校
オーストリア	ヨハネス・ケプラー大学、リンツ工科造形芸術大学	2校
シンガポール	ニー・アン・ポリテクニク、シンガポール・ポリテクニク	2校
ベルギー	ブリュッセル自由大学、アントワープ王立美術アカデミー	2校
タイ	泰日工業大学、パトゥムワン・デモンストレーション・スクール	2校
フランス	リヨンI大学	1校
カナダ	モホーク大学	1校
フィリピン	フィリピン国立大学ロスバニョス校	1校
コスタリカ	コスタリカナショナル大学	1校
オーストラリア	アニマルインダストリーズリソースセンター	1校
コンゴ民主共和国	高等技術大学	1校
マレーシア	マラ工科大学医学部	1校

人事・組織

■人事評価プロジェクトの廃止

職員の自己点検・勤務考課が実施後2年を経過し、軌道に乗ったため廃止としました。

■加計学園理事・監事・評議員概況

区分	定数	常勤	非常勤	計
理事	9～13	7	3	10
監事	2		2	2
評議員	23～32	28	4	32

(平成24年5月1日現在)

■役員について

5月31日：加藤忠蔵理事退任

学園の概況

■学園の沿革（抜粋）

- 昭和30年 4月 加計学園の出発点ともなった広島英数学館を、加計勉が創立
- 昭和36年 9月 学校法人加計学園認可、理事長に加計勉就任、岡山電機工業高等学校設置認可
- 昭和37年 4月 岡山電機工業高等学校開校（全日制） 初代校長に神崎栄一郎就任
- 昭和39年 1月 岡山理科大学設置認可
- 2月 岡山理科大学設置認可にともない、岡山電機工業高等学校を岡山理科大学附属高等学校と改称
- 4月 岡山理科大学開学（理学部） 初代学長に加計勉就任
- 昭和42年 4月 岡山理科大学附属高等学校第2代校長として、内藤一人就任
- 昭和44年12月 真庭郡川上村に岡山理科大学蒜山研究所、蒜山学舎を開設
- 昭和48年10月 学校法人加計学園の所在地が岡山市の住居表示変更により、岡山市理大町と町名変更
- 昭和49年 4月 岡山理科大学大学院理学研究科修士課程を設置
- 岡山理科大学附属高等学校第3代校長として中尾寿夫就任
- 昭和50年 4月 岡山高等建築専門学院設置認可
- 5月 岡山高等建築専門学院開校（建築学科夜間部定時制） 初代校長に中尾寿夫就任
- 昭和51年 4月 岡山高等建築専門学院、専修学校法施行により岡山高等建築専門学校と改称
- 昭和53年 4月 岡山理科大学大学院理学研究科に博士課程（後期）を設置
- 昭和55年 4月 岡山理科大学第2代学長に、奥田毅就任
- 岡山理科大学附属高等学校第4代校長として、松本卓三就任
- 岡山高等建築専門学校昼間部を増設、第2代校長として片山誠二就任
- 7月 寄附行為変更により総長制度認可、初代総長に加計勉就任
- 昭和59年 4月 岡山理科大学第3代学長に、黒谷寿雄就任
- 昭和61年 4月 岡山理科大学工学部設置
- 岡山理科大学附属高等学校第5代校長として、三宅寛就任
- 岡山高等建築専門学校を岡山理科大学専門学校と改称

- 平成 2年 4月 岡山理科大学第 4 代学長に、加計勉就任
岡山理科大学大学院の理学研究科を改組し、工学研究科を設置
- 平成 4年 1月 岡山理科大学附属高等学校第 6 代校長として、加計晃太郎就任
4月 岡山理科大学附属高等学校第 7 代校長として、渡辺己巳生就任
- 平成 6年12月 倉敷芸術科学大学設置認可 初代学長に谷口澄夫就任
- 平成 7年 4月 **倉敷芸術科学大学**開学
- 平成 9年 4月 岡山理科大学総合情報学部を増設
12月 玉野看護福祉総合専門学校設置認可
- 平成10年 4月 **玉野看護福祉総合専門学校**を開校 初代校長に金政泰弘就任
岡山理科大学附属高等学校第 8 代校長に三木輝知就任
岡山理科大学専門学校第 3 代校長に村上侑就任
- 平成11年 4月 倉敷芸術科学大学第 2 代学長に土井章就任
倉敷芸術科学大学大学院開設
- 平成12年 4月 倉敷芸術科学大学教養学部を国際教養学部に変更
- 平成12年 4月 岡山理科大学附属高等学校通信制課程普通科を設置
- 平成13年 1月 学校法人加計学園第 2 代理事長・総長に加計晃太郎就任
4月 岡山理科大学大学院修士課程に総合情報研究科設置
倉敷芸術科学大学大学院芸術研究科に博士（後期）課程設置
玉野看護福祉総合専門学校を、**玉野総合医療専門学校**に名称変更
岡山理科大学第 5 代学長として、山村泰道就任
9月 岡山理科大学附属中学校設置認可
- 平成14年 4月 倉敷芸術科学大学大学院（通信制）設置
岡山理科大学附属高等学校第 9 代校長として、北尾正幸就任
岡山理科大学専門学校第 4 代校長として、逢坂一正就任
岡山理科大学附属中学校開校 初代校長として、善木道雄就任
- 平成15年 4月 倉敷芸術科学大学産業科学技術学部（通信教育課程）、国際教養学部（通信教育課程）
を設置
11月 千葉科学大学設置認可
- 平成16年 3月 倉敷芸術科学大学専門学校設置認可
4月 岡山理科大学第 6 代学長に宮垣嘉也就任
倉敷芸術科学大学生命科学部を設置
倉敷芸術科学大学国際教養学部募集停止
倉敷芸術科学大学国際教養学部（通信教育課程）募集停止
千葉科学大学開学 初代学長に平野敏右就任
倉敷芸術科学大学専門学校開校 初代校長に岡本繁通就任
- 平成17年 4月 倉敷芸術科学大学第 3 代学長に添田喬就任
岡山理科大学附属高等学校第 10 代校長に橋爪道彦就任
岡山理科大学附属中学校第 2 代校長に新倉正和就任
岡山理科大学専門学校第 5 代校長に圓堂稔就任
玉野総合医療専門学校第 2 代校長に岡田茂就任
- 平成19年 4月 倉敷芸術科学大学専門学校第 2 代校長に伊藤敏夫就任
- 平成20年 4月 岡山理科大学第 7 代学長に波田善夫就任
千葉科学大学大学院薬科学研究科、危機管理学研究科設置
倉敷芸術科学大学専門学校を**倉敷 食と器 専門学校**に名称変更
- 平成21年 4月 岡山理科大学専門学校第 6 代校長に小林正文就任

- 平成22年 3月 倉敷芸術科学大学国際教養学部を廃止
- 平成22年 4月 千葉科学大学第2代学長に赤木靖春就任
玉野総合医療専門学校第3代校長に高井研一就任
倉敷 食と器 専門学校第3代校長に川上雅之就任
千葉科学大学大学院薬科学研究科博士課程（後期）、危機管理学研究科博士課程（後期）設置
- 平成23年 4月 倉敷 食と器 専門学校第4代校長に亀井秀人就任
岡山理科大学大学院工学研究科生体医工学専攻設置
岡山理科大学大学院工学研究科建築学専攻設置
岡山理科大学工学部建築学科設置
岡山理科大学総合情報学部建築学科募集停止
倉敷芸術科学大学産業科学技術学部経営情報学科設置
倉敷芸術科学大学産業科学技術学部IT科学科募集停止
倉敷芸術科学大学産業科学技術学部起業経営学科募集停止
倉敷芸術科学大学生命科学部健康医療学科設置
- 平成23年10月 倉敷芸術科学大学第4代学長に唐木英明就任
- 平成24年 4月 岡山理科大学附属高等学校第11代校長に宮垣嘉也就任
岡山理科大学附属中学校第3代校長に位田隆久就任
岡山理科大学専門学校第7代校長に村岡正就任
岡山理科大学生物地球学部設置
岡山理科大学総合情報学部生物地球システム学科募集停止
倉敷芸術科学大学別科に調理師別科、製菓衛生師別科設置
千葉科学大学大学院薬科学研究科を薬学研究科に名称変更、薬学科（6年制）を基礎とした薬学専攻博士課程（4年制一貫）を設置
千葉科学大学危機管理学部に環境危機管理学科及び動物危機管理学科を設置
- 平成24年 7月 千葉科学大学大学院薬学研究科について、薬学科（4年制）を基礎とした薬学専攻修士課程を廃止
- 平成24年 9月 千葉科学大学危機管理学部航空・輸送安全学科の名称変更届出
- 平成25年 3月 倉敷芸術科学大学芸術学部工芸・デザイン学科を廃止
倉敷 食と器 専門学校閉校

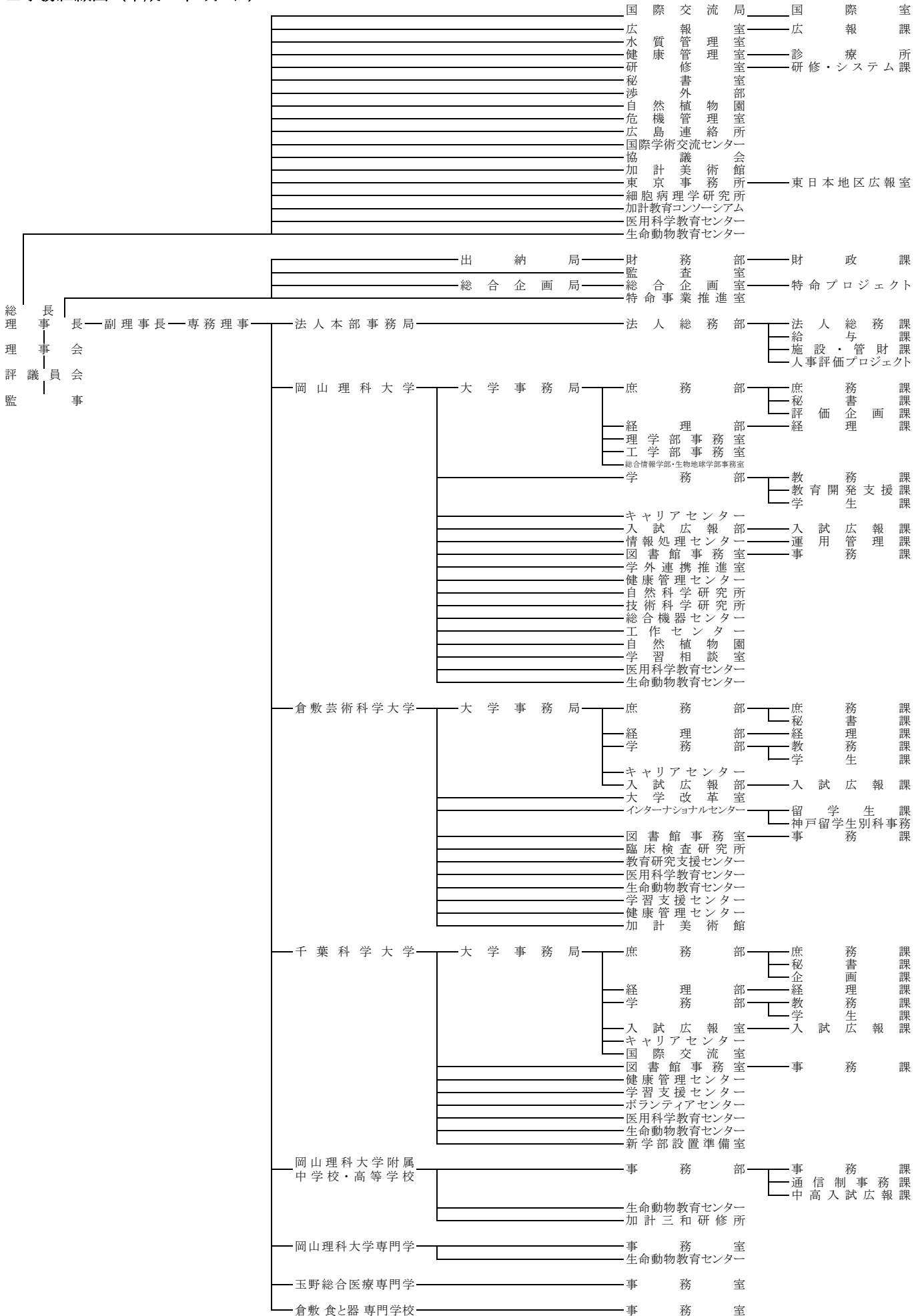
■設置校概況

平成24年5月1日現在

区 分	合計		教員	職員	計
	定員	現員			
岡山理科大学 (岡山市北区理大町1-1)	5,434	5,827	275	190	465
大学院	384	242		(本部) 79 (理大) 111	
理学研究科	191	109			
工学研究科	146	88			
総合情報研究科	47	45			
学部	5,050	5,585			
理 学 部	2,070	2,428			
工 学 部	1,870	2,003			
総合情報学部	1,010	1,035			
生物地球学部	100	119			
倉敷芸術科学大学 (倉敷市連島町西之浦2640)	2,192	1,707	114	63	177
大学院	126	54			
芸術研究科	52	27			
産業科学技術研究科	44	17			
人間文化研究科	30	10			
学部	1,746	1,631			
芸術学部	405	397			
産業科学技術学部	410	293			
生命科学部	931	941			
大学院 (通信制)	120	14			
芸術研究科	20	5			
産業科学技術研究科	40	0			
人間文化研究科	60	9			
学部 (通信教育課程)	200	8			
産業科学技術学部	200	8			
千葉科学大学 (千葉県銚子市潮見町3)	2,347	1,790	104	52	156
大学院	57	33			
薬科学研究科	38	20			
危機管理学研究科	19	13			
学部	2,290	1,757			
薬学部	1,140	767			
危機管理学部	1,150	990			
岡山理科大学附属高等学校 (岡山市北区理大町1-1)	2,100	1,531	75	19	94
全日制	1,500	1,267			
通信制(1～3年定員:600名)	600	264			
岡山理科大学附属中学校 (岡山市北区理大町1-1)	240	156	16		16
岡山理科大学専門学校 (岡山市北区半田町8-3)	490	449	13	12	25
工業専門課程(建築)	120	96			
商業実務専門課程(映像情報)	0	0			
文化・教養専門課程(動物看護, トリミング, ドッグ, アット)	370	353			
文化・教養一般課程(トリミング, ドッグ, アット)	0	0			
玉野総合医療専門学校 (玉野市築港1丁目1-20)	560	452	33	8	41
医療専門課程(保健看護, 理学療法, 作業療法)	480	411			
教育・社会福祉専門課程(介護福祉)	80	41			
倉敷 食と器 専門学校 (倉敷市連島町西之浦2640)	100	34	5	4	9
衛生専門課程(高度調理, 高度製菓)	80	31			
文化・教養専門課程(器デザイン)	20	3			
合 計	13,463	11,946	635	348	983

※別科、専攻科等除く

■事務組織図（平成24年5月1日）



財務関係

■資金収支計算書

(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

収入の部 (単位：円)

科 目	金 額
学生生徒等納付金収入	15,504,749,270
手数料収入	277,695,545
寄付金収入	42,001,677
補助金収入	2,621,707,237
資産運用収入	221,129,411
資産売却収入	426,029,999
事業収入	138,259,247
雑収入	497,485,435
借入金等収入	1,370,000
前受金収入	2,335,513,460
その他の収入	3,333,288,758
資金収入調整勘定	△ 3,085,086,388
前年度繰越支払資金	21,016,453,153
計	43,330,596,804

支出の部 (単位：円)

科 目	金 額
人件費支出	11,267,442,607
教育研究経費支出	3,758,913,843
管理経費支出	1,169,966,184
借入金等利息支出	135,445,565
借入金等返済支出	1,016,613,400
施設関係支出	321,125,230
設備関係支出	697,617,584
資産運用支出	2,667,210,000
その他の支出	1,866,036,233
資金支出調整勘定	△ 991,948,940
次年度繰越支払資金	21,422,175,098
計	43,330,596,804

■消費収支計算書

(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

消費収入の部 (単位：円)

科 目	金 額
学生生徒等納付金	15,504,749,270
手数料	277,695,545
寄付金	78,828,555
補助金	2,621,707,237
資産運用収入	221,129,411
資産売却差額	26,049,998
事業収入	126,771,909
雑収入	497,485,435
帰属収入合計	19,354,417,360
基本金組入額合計	△ 1,435,955,435
消費収入の部合計	17,918,461,925

消費支出の部 (単位：円)

科 目	金 額
人件費	11,267,442,607
教育研究経費	5,581,769,192
管理経費	1,661,993,330
借入金等利息	135,445,565
資産処分差額	51,324,317
消費支出の部合計	18,697,975,011
当年度消費支出超過額	779,513,086
前年度繰越消費支出超過額	13,124,827,867
翌年度繰越消費支出超過額	13,904,340,953

■貸借対照表（平成25年3月31日）

資産の部 (単位：円)

科 目	金 額
固定資産	58,638,730,850
有形固定資産	53,810,320,968
その他の固定資産	4,828,409,882
流動資産	23,224,287,361
資産の部合計	81,863,018,211

負債の部 (単位：円)

科 目	金 額
固定負債	12,204,293,209
流動負債	4,278,756,402
負債の部合計	16,483,049,611

基本金の部 (単位：円)

科 目	金 額
基本金の部合計	79,284,309,553

消費収支差額の部 (単位：円)

科 目	金 額
翌年度繰越消費支出超過額	△ 13,904,340,953
消費収支差額の部合計	△ 13,904,340,953
科 目	金 額
負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	81,863,018,211

■財産目録（平成25年3月31日）

(単位：円)

科 目	金 額
一資産額	
(一) 基本財産	58,402,897,020
1. 土地	15,851,455,923
借地権	388,140,000
2. 建物	25,870,238,668
(1)校舎	20,178,366,946
(2)図書館	366,854,643
(3)体育館	2,393,897,158
(4)寄宿舎	410,140,434
(5)倉庫	21,635,224
(6)その他	2,499,344,263
3. 建設仮勘定	59,692,500
4. 構築物	1,530,127,357
5. 図書	6,705,432,778
6. 教具・校具・備品	3,766,734,702
7. 車両運搬具	26,639,040
8. 積立金	2,004,436,052
9. 特定資産	2,200,000,000
(二) 運用財産	23,460,121,191
1. 預金、現金	21,422,175,098
2. 出資金	94,859,400
3. 有価証券	960,629,833
4. 未収金	755,200,981
5. 仮払金	7,193,776
6. 差入保証金	140,974,430
7. 前払金	76,861,483
8. 貯蔵品	2,226,190
合 計	81,863,018,211
二負債額	
1. 固定負債	12,204,293,209
(1)長期借入金	8,348,082,000
(2)学校債	4,630,000
(3)退職給与引当金	3,851,581,209
2. 流動負債	4,278,756,402
(1)短期借入金	494,402,300
(2)学校債	3,230,000
(3)未払金	896,317,686
(4)前受金	2,335,513,460
(5)預り金	539,245,774
(6)仮受金	10,047,182
合 計	16,483,049,611

■財務比率

消費収支計算書及び貸借対照表に基づく財務比率について、下表で本学の経年比率を示しました。

区 分		21年度	22年度	23年度	24年度	
分類	比 率	算式 (×100)				
貸借対照表	消費収支差額構成比率	$\frac{\text{消費収支差額}}{\text{総 資 金}}$	△9.5%	△11.2%	△15.9%	△17.0%
	基本金比率	$\frac{\text{基 本 金}}{\text{基本金要組入額}}$	86.7%	87.5%	88.5%	89.8%
	固定比率	$\frac{\text{固 定 資 産}}{\text{自 己 資 金}}$	92.0%	90.7%	92.6%	89.7%
	固定長期適合率	$\frac{\text{固 定 資 産}}{\text{自己資金+固定負債}}$	78.3%	77.3%	76.9%	75.6%
	流動比率	$\frac{\text{流 動 資 産}}{\text{流 動 負 債}}$	473.1%	564.5%	491.0%	542.8%
	前受金保有率	$\frac{\text{現 金 預 金}}{\text{前 受 金}}$	788.5%	863.1%	907.1%	917.2%
	総負債比率	$\frac{\text{総 負 債}}{\text{総 資 産}}$	19.6%	18.8%	21.6%	20.1%
	負債率	$\frac{\text{総負債-前受金}}{\text{総 資 産}}$	16.5%	15.9%	18.8%	17.3%
	基本金実質組入率	$\frac{\text{自 己 資 金}}{\text{基本金要組入額}}$	77.5%	76.9%	73.6%	74.0%
消費収支計算書	人件費比率	$\frac{\text{人 件 費}}{\text{帰 属 収 入}}$	64.1%	60.5%	71.4%	58.2%
	教育研究経費比率	$\frac{\text{教 育 研 究 経 費}}{\text{消 費 支 出}}$	29.7%	30.7%	26.8%	29.9%
	管理経費比率	$\frac{\text{管 理 経 費}}{\text{帰 属 収 入}}$	9.2%	9.3%	10.0%	8.6%
	消費支出比率	$\frac{\text{消 費 支 出}}{\text{帰 属 収 入}}$	106.2%	102.6%	113.3%	96.6%
	【経常経費依存率】	$\frac{\text{消 費 支 出}}{\text{学生生徒等納付金}}$	133.8%	127.3%	145.5%	120.6%
	学生生徒等納付金比率	$\frac{\text{学 生 生 徒 等 納 付 金}}{\text{帰 属 収 入}}$	79.4%	80.7%	77.9%	80.1%
	寄付金比率	$\frac{\text{寄 付 金}}{\text{帰 属 収 入}}$	0.9%	0.7%	1.8%	0.4%
	補助金比率	$\frac{\text{補 助 金}}{\text{帰 属 収 入}}$	14.0%	14.0%	14.5%	13.5%
	基本金組入率	$\frac{\text{基 本 金 組 入 額}}{\text{帰 属 収 入}}$	1.4%	4.2%	6.2%	7.4%

■国庫補助金等

設置校名	①	②	③	(単位：千円)		
	経常費補助金	大型機器補助金	G P等選定事業	その他国庫補助金	地方公共団体補助金	合計
岡山理科大学	977,816	210,030	52,217	17,012	540	1,257,615
倉敷芸術科学大学	474,990	7,847	16,439		4,079	503,355
千葉科学大学	371,341	6,212	13,529	1,054	131	392,267
岡山理科大学附属高等学校				8,343	372,581	380,924
岡山理科大学附属中学校					61,165	61,165
岡山理科大学専門学校					318	318
玉野総合医療専門学校					25,906	25,906
倉敷食と器専門学校					157	157
合計	1,824,147	224,089	82,185	26,409	464,877	2,621,707

①経常費補助金・・・私立大学等経常費補助金（一般補助、特別補助）

②大型機器補助金・・・私立学校施設整備費補助金（私立学校教育研究装置等施設整備費（私立大学・大学院等教育研究装置施設整備費））及び私立大学等研究設備整備費補助金（私立大学等研究設備等整備費）

③G P等選定事業・・・大学改革推進等補助金（戦略G P、教育G P等）、科学技術総合推進費補助金等、文部科学省が選定し、支援を行う補助事業

■受託研究・共同研究・科学研究費補助金

設置校等名	受託研究	共同研究	科学研究費補助金	
			件数	補助金額
岡山理科大学	30 件	20 件	53 件	102,830 千円
理学部	10	5	18	28,210
工学部	12	14	23	51,090
総合情報学部	1		5	7,930
生物地球学部	7		6	13,520
附属施設		1	1	2,080
倉敷芸術科学大学	6	7	7	10,790
芸術学部	1	2	2	3,120
産業科学技術学部	1	4	1	1,300
生命科学部	4	1	4	6,370
千葉科学大学	13	2	18	72,295
薬学部	7	0	11	23,660
危機管理学部	6	2	7	48,635
合計	49	29	78	185,915